

令和2年度 事務事業評価表 (令和元年度の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 15 日

事務事業名		急傾斜地崩壊対策事業				事業区分		担当	
						新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	030103000349
政策体系上の位置付け									
政策体系	総合計画の施策名		0301	消防・防災対策の充実				所属課	060101
	政策名		03	安全安心な暮らしのまちづくり					建設課
	施策名		01	消防・防災対策の充実					課長名
	手段名		03	③消防防災拠点の確立				グループ	建設グループ
財務会計上の位置付け									
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	事業期間	
		01	08	01	01	02	00	一般会計	単年度繰返し (年度~)
		土木総務事業						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠 地方財政法第27条第2項									

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当が行う業務の内容・やり方・手順				
	がけ崩れによる災害を未然に防止し、また、災害が発生した場合の被害を最小限にとどめるために、防災パトロールを実施し危険個所の把握及び整備を行う。県施工による事業の負担金を支払う。現在は、県単急傾斜地崩壊対策事業該当地区はないが、新たに該当地区が見つかった場合、県に整備要望を行う。					県が行う土木建設事業等(県単急傾斜地崩壊対策事業)に対する受益市町村負担金の支払い(事業実施年度のみ)、急傾斜地パトロールの実施(県土木事務所合同パトロール毎年1回)。				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
県が行う土木建設事業等(県単急傾斜地崩壊対策事業)に対する受益市町村負担金の支払い(事業実施年度のみ)、急傾斜地パトロールの実施(県土木事務所合同パトロール毎年1回)。	受益市町村負担金	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
急傾斜地崩壊危険地域	急傾斜地崩壊危険地域	地区	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
対象地域の安全が確保される	急傾斜地崩壊対策事業実施地区	地区	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業内訳	30年度(実績)	01年度(実績)	02年度(計画)	期間限定総投入量	
						国庫支出金
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
	合計		0			0

事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事務事業No.	30103000349	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 山間急傾斜地において崩壊の恐れがある危険箇所について、調査及び整備の地元要望					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 安全性と快適性が確保された。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない がけ崩れによる災害などで、市民に被害が及ぶことを防ぐことは市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当でない 市民の安全を守ることは市として当然のことである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 現状妥当である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <input type="checkbox"/> 影響無 土砂崩れなどの危険箇所の把握ができなくなってしまうため。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある 地域が限定されているため。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業主体が県であるため。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 公正・公平でない 現在費用負担がないため。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	昨今の集中豪雨による土砂災害等が増大していることから、マサ土等で形成されている急傾斜地及びハザードマップ危険エリアを中心に現地を確認し、危険度の高いエリアについては、茨城県担当部局へ報告・事業要望を実施する																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/>																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>